

7割が「集中できる」 在宅勤務の実態調査

エイテック

オリエンタルコンサルタ
ンツホールディングスの事
業会社・エイテック（東京
都渋谷区、橋義規社長）は、
新型コロナウイルスの流行
で在宅勤務を経験した社員
を対象にアンケートを実施
した。調査結果によると、
仕事に集中できたかどうか
を聞いたところ、7割超が
「集中できる」「オフィス
と同程度」と回答した。

アンケートは6月1～8
日に実施。全社員に対して
▽利点▽集中度▽自宅の環
境整備に対する要望▽適切
な在宅勤務日数などを調
査。111人から回答を集
計した。

在宅勤務中の集中度は
「集中できる」と「オフィ
スと同程度」を合わせた割
合が76%だった。「集中で
きない」と回答した24%の

要因はほとんどが「仕事部
屋がない」「子どもがいて
集中できない」だった。在

宅勤務のメリットには「満
員電車へのストレス緩和」
「睡眠時間増加」「家族と
の時間が増えた」などを挙
げる意見があった。

在宅勤務に必要な設備は
「プリンターなどの印刷環
境」「モニター画面の大き
さ」を重要視する社員が多
かった。在宅勤務の適切な
日数は「日数は決めずに必
要なときに出勤すればよ
い」との意見が38%。同社
は定期的にモニタリングし
ながら在宅勤務を運用して
いく。